

埋もれた大宮びとの横顔

—薬・まじない・庄園の木簡



開催期間

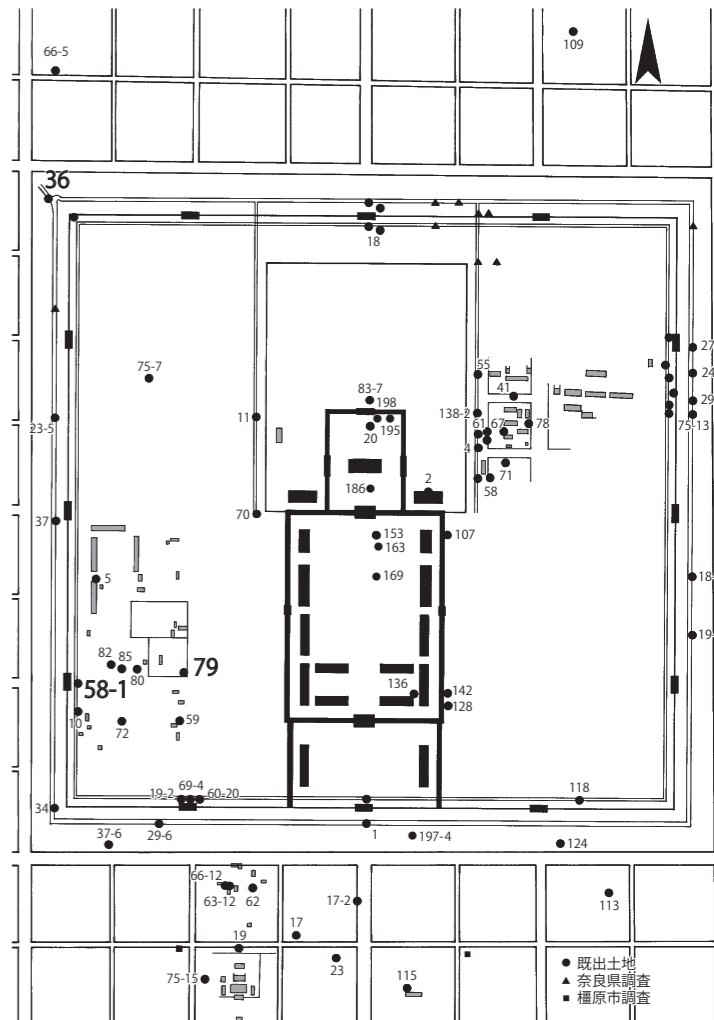
平成31年4月8日(月)～4月26日(金)

表 展示木簡にみえる薬

展示番号	薬名	よみがな	部位	本草和名 ^{※1}	中薬大辞典による薬理 ^{※2}
1	(生)地黄	(ショウ)ジオウ	根茎	—	(乾地黄) 血糖に対する影響、循環系統に対する作用、抗菌作用など
2	桔梗	キキョウ	根	アリノヒフキ、フカトトキ	去痰作用など
3	烏頭	ウズ	塊根	オウ	(草烏頭) かなり強い鎮痛作用
4	芍薬	キュウキュウ	根茎	オムナカツラ、グサ	(川芍) 中枢神経系に対する作用、心血管に対する作用、平滑筋に対する作用、抗菌作用など
5 13	当帰	トウキ	根	ヤマセリ、ウマセリ、カハサク	子宮に対する作用、物質代謝および内分泌に対する影響、循環系に対する影響、抗菌作用など
6	石英	セキエイ	(鉱物)	—	—
7	流黄	リュウオウ	(鉱物)	ユノアカ(ワ)	(石流黄) 下痢をおこす作用など
8	白朮	ビヤクジュツ	根茎	フケラ	利尿作用、血糖低下作用、抗凝血作用、強壮作用、抗菌作用
9 10	人參	ニンジン	根	カノニケクサ、ニコタ、クマノイ	神経系に対する影響、生体の反応性に対する影響、内分泌系に対する影響、物質代謝への影響、循環系に対する影響など
11	杜仲	トチュウ	樹皮	ハヒマユミ	降圧作用、利尿作用など
12	独活	ドクカツ	根・根茎	ウド、ツチタラ	鎮静・催眠・鎮痛・抗炎症作用、心臓・血管系への作用など
14	葛根	カクコン	塊根	クズノネ	循環系統に対する作用、鎮痙作用、血糖低下作用、解熱およびエストロゲン様の作用など
15	知母	チモ	根茎	ヤマトコロ	抗菌作用、解熱作用など
16	夜干	ヤカン	根茎	カラスアフギ	抗微生物作用、消炎作用など
17	五茄	ゴカ	根皮	ムコギ	抗炎症作用、鎮痛・解熱作用、心臓血管に対する影響など
18	桃人	トウニン	種子	(桃核)モモ	(桃仁) 抗血液凝固作用とかなり弱い溶血作用

※1 本草和名の万葉仮名表記はカタカナに改めた。

※2 薬理は、時代とともに期待される効能が異なることもあり、参考までに掲げた。



藤原宮木簡出土地点図

埋もれた大宮びとの横顔 —薬・まじない・庄園の木簡

藤原宮跡からは、現在一万六〇〇〇点余りの木簡が出土しています。都城発掘調査部史料研究室は、今年一月に『藤原宮木簡四』を刊行し、宮の西半部から出土した木簡五二九点(うち削屑四三三三点)の報告を終えました。今回の展示は、この報告書の刊行にちなんで企画したもので、報告書に掲載したなかから二二点の木簡を厳選し、出土当時の姿を伝える保存処理前の状態でご覧いただけます。

展示する木簡は、藤原宮の時代に用いられた薬にかかわる木簡(1～18)、藤原宮造営期に属するとみられるまじないの符号を記した呪符(19)、藤原宮の跡地に営まれた庄園で平安時代初頭に作成された大型の帳簿(20・21)です。

古代には薬は貴重品で、国家により独占的に集積し保管されていました。薬を支給したときの木簡、貢納したときの荷札、保管したときの付札は、薬の管理が大宝令施行以前の時期からおこなわれていたことを示す貴重な資料といえます。こうした医療行為に加えて、都市生活の安寧や人々の祈りには、まじないがなお大きな役割を果たしていたようです。

平城京への遷都から百年の後、藤原宮の故地は庄園へと変化していました。ある庄で綴られた大型の木簡は、史料の乏しい平安時代初期の庄園経営の実態がうかがわれる、たぐい稀なる資料です。

この展示を通して、藤原宮の時代に生きた大宮びとの生活や信仰、宮廃絶後に営まれた庄園の姿を、木簡という「生」の資料から感じ取っていただければと思います。

例言

一、このリーフレットは、藤原宮跡資料室でおこなう企画展示「埋もれた大宮びとの横顔—薬・まじない・庄園の木簡」にちなんで作成しました。(会期 平成三十一年四月八日(月)～四月二十六日(金))

一、木簡の保全に万全を期すため、会期中展示替えをおこないます。

一、木簡の写真は、原寸の八〇パーセントに縮小して掲載しました(19のみ七〇パーセント)。写真下のアラビア数字は今回の展示における通し番号を示します。

一、1～18は藤原宮西面内濠S D一四〇〇(第五八、一次調査)から、19は西方官衙南地区の井戸S E八四三二(第七九次調査)から、20・21は藤原宮西北隅の井戸S E三四〇〇(第三六次調査)から出土しました。

一、編集は都城発掘調査部史料研究室が、写真は企画調整部写真室が担当しました。

「埋もれた大宮びとの横顔」
薬・まじない・庄園

リーフレット 印刷 天理時報社

編集 奈良文化財研究所都城発掘調査部
(飛鳥・藤原地区) 史料研究室
平成三十一年四月八日発行

表紙は木簡出土地の付近現況(南から)と庄園の木簡(20・21)。左奥にみえる円錐形の独立峰が耳成山。

白朮四



8 (赤外)

人参十斤



10

杜仲十斤



11

当帰十斤



13

羌活十斤



17

人参十斤



9

无耶志国薬鳥



3

无耶志国薬桔梗卅斤



2

夜干「十」斤



16

石川阿曾弥所賜

忽生地黄



1

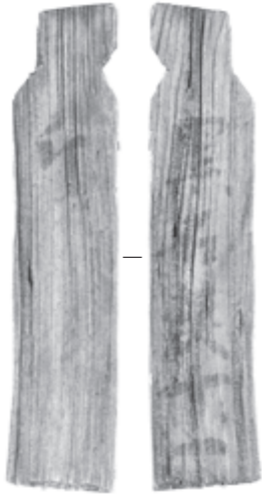
(符録1) (符録2) (符録3) 鬼小 (符録4) 今

乎其



19 (7:10)

(表) 黑石英十一
(裏) 斤



6

桃人七升



18

葛根六斤



14

知母五斤



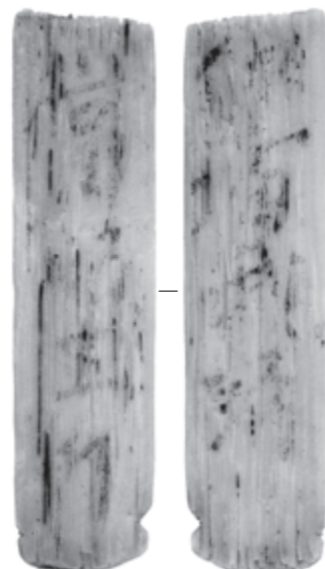
15 (赤外)

□ 流黄一



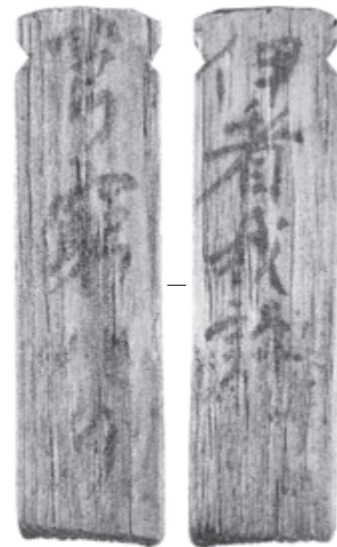
7 (赤外)

(表) 伊看我評
(裏) 当帰五斤



5 (赤外)

(表) 伊看我評
(裏) 羌窮八斤



4

独活十斤



12